

自然の家周辺の地理

1 むろがみやま 室神山 (通称：高仙, 浅利富士)

標高 246mで、高い山ではないですが、山頂や、岩場の展望台からの景色は格別で、日本海に沈む夕日や、夜の海を彩る漁り火は、一見の価値があります。

島根県で「〇〇富士」と呼ばれるのは5つあり、室神山もその一つで、遠くから眺めると富士山のように見え、「浅利富士」と呼ばれています。

平成10年ごろまでは、広大な松林でしたが、松くい虫の被害により松が枯れ、江津市によって植林が行われ、現在は多くの樹種の山となっています。

山頂に地蔵堂があり、毎月24日には高仙講により例祭がおこなわれています。

※ばあさん井戸・じいさん井戸の伝説

室神山登山道の途中に、ばあさん井戸とじいさん井戸があります。その伝説に少し触れておきます。

むかしむかし、はし浦（現在の江津市波子町）に小舟が流れ着きました。中には6、7歳の女の子が乗っていました。子どものいないおじいさんとおばあさんは娘になってくれるように頼みました。娘はうなずき、それから二人は家に連れて帰り大事に育てました。

娘が13歳になった年の冬、「出雲の国に帰らせてください」と二人に突然伝えました。夜中におじいさんが目を覚ますと、もうすでに娘は家を出た後でした。おじいさんとおばあさんは驚いて、必死で娘の後を追いました。しかし、力尽きて二人は亡くなりました。

娘に去られた、おじいさんとおばあさんの悲しみの涙が溜まって、じいさん井戸、ばあさん井戸ができたといわれています。

2 こう かわ 江の川 (別名：中国太郎)

自然の家より車で5分ほどの所にある川。

中国山地のほぼ中央を貫流して日本海に注ぐ「中国太郎」の異名を持つ中国地方最大の河川です。その流域は広島県・島根県に属し、流域面積3,900km²（中国地方1位）、幹川流路延長194.0km（中国地方1位）となっています。

多種多様な動植物が生息し、特別天然記念物のオオサンショウウオも、広い範囲で確認されるなど、自然豊かな川です。鮎漁も盛んに行われています。

江津市は、その江の川が日本海へ流れ出す河口にあたり、毎年8月16日には「江の川祭り」が行われ、花火大会や大蛇ボートレースなどの催し物があり、多くの観光客が訪れています。

3 あさりかいがん 浅利海岸

自然の家より車で5分ほどの所にある海岸。

日本海の透明度の高い海岸で、夏場には多くの海水浴客でにぎわっています。

島根県の行っている県内海水浴場の水質調査でも、環境省が示した海水浴場水質判定基準の最高水準であるAAを毎年とり続けています。

海岸沿いには、大きな風力発電用の風車が並んでおり、新しい江津の景観をつくり出しています。

4 こもさわいけ 菰沢池 (菰沢公園内)

自然の家より車で5分ほどの所にある周囲約3キロの池。

池周辺が公園となっており、1ヘクタールをこえる、広大な芝生広場があります。池でのブラックバス釣りや、大型の遊具、バスケットコートや、スケートボード場も設置されており、さまざまな楽しみ方が可能です。

また、隣接のオートキャンプ場もあり、夏場を中心に多くの観光客でにぎわっています。